



新春懇談会を開催

子どもたちに誇れるまちづくり実現に向けて

市では、市民の皆さんの意見を多く取り入れ、市民の皆さんとの協働のまちづくりを目指し、『市長と「みらい」を語る集い』や「市長への手紙」を実施しています。

今回は、市PTA連絡協議会の皆さんを迎え、つくばみらい市への想いや、まちづくりについて対談を行いました。

市長 皆さん、新年明けましておめでとうございます。今日は、皆さんがつくばみらい市に普段から思っていることや感じてい

ること、また、今後このようなまちになって欲しいなど、皆さんの率直なお考えをお聞かせいただき、今後のまちづくりへの

より質の高い教育環境の整備を

中島 小絹小学校でPTA会長としております中島満寛です。

小絹小学校は、現在、600人近い児童がおり、6学年すべてが3クラス編成の比較的大きな学校です。ただ、学習の環境面を見ますと、校舎もだいぶ古くなってきております。クラックが入っているところもあります

ご意見をいただければと思います。

まず、はじめに、皆さんは各学校のPTA会長をされていいますが、各学校の現状や子どもたちをとりまく環境については、どのような感想をお持ちですか。一人ずつお聞かせください。

し、子どもたちの使っている机も古くなってきています。これは、質のよい学習のためには必要なものだと思いますので、教育環境を整える意味でも、整備をお願いしたいです。

齋藤 小張小学校のPTA会長としております齋藤拓史です。小張小学校の児童数は、昨年度



なかじま 中島 満寛さん

が409人、今年度は392人と数だけでしたら10人ほど少ないだけですが、昨年と比べてPTA会員の数は40人ほど減っています。児童は多いのですが、兄弟が多いため、PTA会員となる保護者の数が少ないんです。なので、秋祭りや運動会の際に、お手伝いいただくときには、多少苦勞することもあります。